

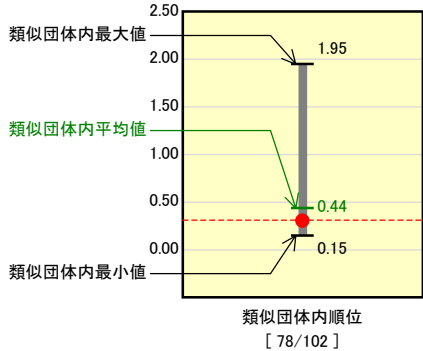
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

京都府 野田川町

人口	11,222 人(H17.3.31現在)
面積	35.90 km ²
歳入総額	4,161,872 千円
歳出総額	4,079,473 千円
実質収支	77,927 千円

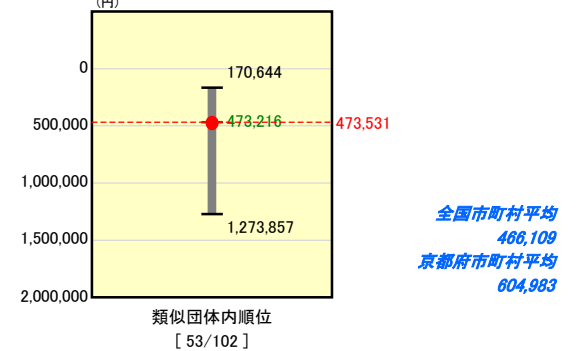
財政力

財政力指数 **[0.31]**



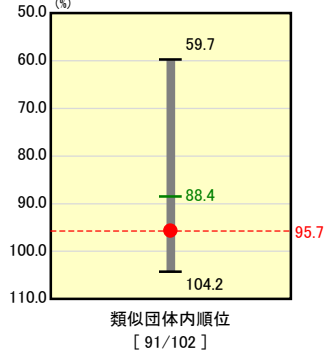
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 **[473,531円]**



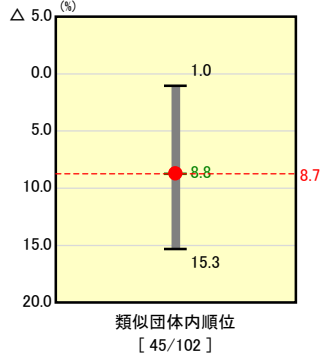
財政構造の弾力性

経常収支比率 **[95.7%]**

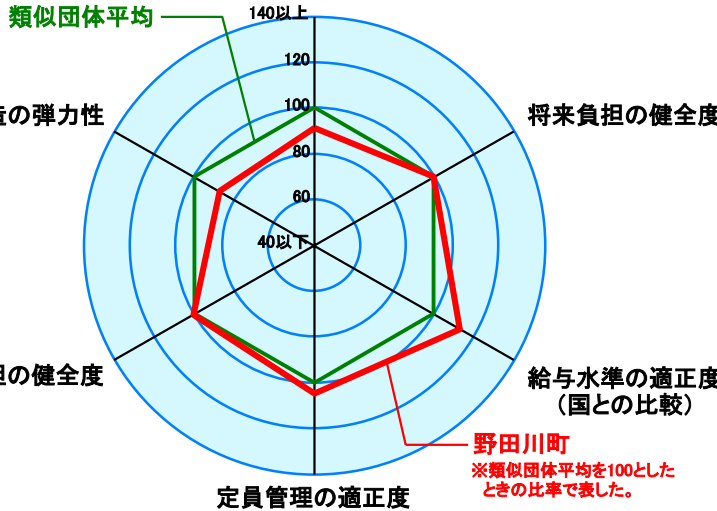


公債費負担の健全度

起債制限比率 **[8.7%]**



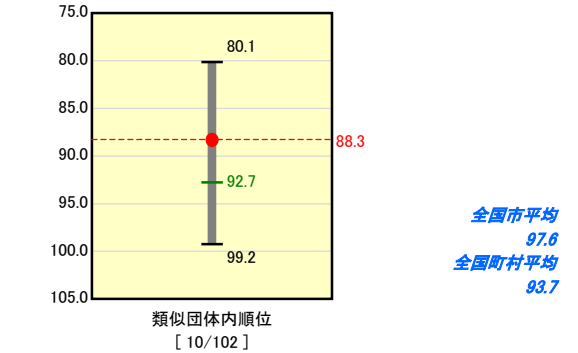
財政力



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

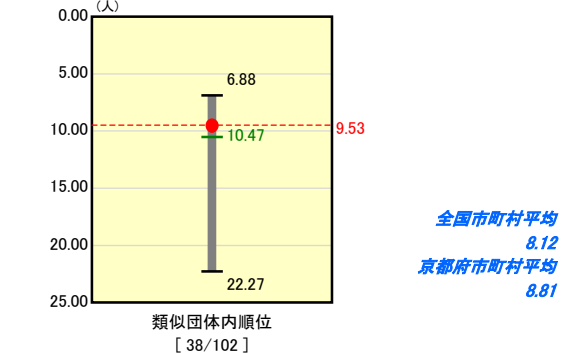
給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレズ指数 **[88.3]**



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 **[9.53人]**



分析欄

【財政力指数】
当町の基幹産業である織物業の構造的不況による税収入の減少等により、類似団体平均を大幅に下回っている。3月1日の合併後は与謝野町として、財政基盤の強化を目指した新たな行財政改革に取り組む。

【経常収支比率】
まちづくりの方針として「福祉のまちづくり」を提唱している当町では、児童・生徒医療費無料化や元気老人対策などの施策を実施しており、扶助費は年々増加している(対前年度比12.2%上昇)。特別職をはじめ職員給与の3%削減など、人件費の抑制に努めているものの、経常経費の増加に追いつかない状況であり、経常収支比率は悪化傾向にある。合併後は、小学校の統廃合等も含め、経常経費のさらなる削減に努める。

【起債制限比率】
高利率な起債の繰上償還や、交付税措置のある起債の発行等により、類似団体平均を若干下回っている。

【人口1人当たり地方債現在高】
上記の取組みにより、類似団体平均と比較して、ほぼ同額となっている。

【ラスパイレズ指数】
平成16年度から職員の給与カット(特別職10%、一般職3%等)を実施しており、類似団体平均を大きく下回っている。

【人口1,000人当たり職員数】
定員管理に努めた結果、類似団体平均を下回っている。